



日本共産党都議会議員団ニュース

河野ゆりえ

都議会報告

事務所 〒132-0023 江戸川区西一之江4-16-15

☎03-3674-2243 Fax03-3655-0689

都政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

発行 日本共産党
東京都議会議員団
☎ 03-5320-7270
Fax 03-5388-1790
[党都議団控室]
新宿区西新宿2-8-1
2014年7月 第3号



取材に応える日本共産党の女性都議(右から2人目が河野ゆりえ都議)

「早く結婚したほうがいい」と不規則発言した自民党の鈴木章浩氏の議員辞職とともに、まだあきらまかになつていない「自分が生んでから…」などと言った議員について、みずから名乗りでて辞職すること、都議

今都議会は、安倍政権による国民の利益にそむく暴走に協力するという、舛添都政の基本的な立場が明らかにになりました。同時に、悪政と正面から対決するとともに、具体的な対案をいしめて都民要求実現に力をつくす、日本共産党の値打ちが浮きぼりにもなりました。

自民党議員による女性の人権を侵害する不規則発言 日本共産党都議団が発言者の辞職要求を求める決議案を提出

舛添知事が就任して4ヶ月が経過してひらかれた定例会が6月25日に閉会しました。また今議会では、自民党議員による女性の人権を侵害する不規則発言が大問題になりました。わが党は、二度とこのような問題をおこさないよう、都議会が毅然(きぜん)とした態度でのぞみ、再発防止と信頼回復にとりくむよう、全力をつくしました。

女性に対する重大な人権侵害発言は許されないと。都議会の信頼回復を

会がほんらいあるべき議会制民主主義への信頼回復に全力をつくすことをもとめる決議案を提出しました。他会派が議員辞職をもとめることをこぼんだために、成立しませんでした。

自民党、公明党、民主党、みんなの党などが共同提案し、生活者ネットも賛成して採択された決議案は、今回の不規則発言を明確に「人権侵害」といわず、あいまいなまま幕引きをはかろうとするものであり、わが党は反対しました。また民主党、みんなの党、生活者ネットが提案した決議案も、発言者の辞職などをとめず、都民の声に正面からこたえないものであり、反対しました。

わが党は、この問題をひきつづき徹底説明するものです。そして、このようなことが二度とくりかえされないよう、女性の人権が尊重される議会運営に刷新するために、力をつくすものです。

不規則発言問題での3つの決議案に対する各党・会派の態度(下表)

提案会派	鈴木氏発言	鈴木氏進退	鈴木氏以外の発言者	成否	共産	自民	公明	民主	結・維	みんな	ネット
共産党	人権侵害	辞職すべし	名乗り出て辞職すべし	否決	○	×	×	×	×	×	×
自民 公明ら	人権侵害と言われかねない	記述なし	記述なし	可決	×	○	○	○	○	○	○
民主 みんな	人権侵害	猛省要求	名乗り出るよう要求	否決	×	×	×	○	×	○	○

都知事がカヌー・スラローム会場について、隣接する下水道局の用地の活用を検討を表明

今定例会で舛添知事は、葛西臨海公園のカヌー・スラローム会場について、隣接の下水道局の用地の活用を検討すると表明しました。日本野鳥の会や区民、都民の世論と運動に、共産党の提案を反映したものとされます。また知事が、オリンピック・パラリンピック競技施設について、近隣県までふくめた既存施設の活用や、整備費の圧縮、環境への配慮などを基本とする会場計画の見直しを表明したことは、大きな前進です。今後、都がすみやかに関係者と協議し、会場計画の抜本的見直しが行われるよう、共産党は引き続き力を尽くすものです。

河野ゆりえ都議が2008年の段階で、都知事にカヌー・スラローム計画の見直しを質問

カヌー・スラローム計画について河野ゆりえ都議は2008年6月23日に、都知事に文書質問趣意書を提出し、見直しを要求していました。その部分を紹介します。

「『葛西臨海公園のカヌー・スラローム施設建設計画について』

2016年東京五輪開催に向けて東京都がIOCに提出した申請ファイルには、競技施設整備の計画が記されています。新設が予定されている施設として、カヌーのスラローム施設があり、場所は江戸川区の葛西臨海公園となっています。葛西臨海公園へのスラローム施設建設計画は、いくつもの問題点がありますので、以下、質問します。

計画ではスラローム競技施設は、新設、常設で2015年5月31日完成予定、建設位置は人工なぎさ西側の真向かいの汐風広場で、観客席数は

8000人規模となっております。申請ファイルの前の概要計画書には、建築面積6550㎡、延床面積1万3100㎡と記されています。

申請ファイルに記載されている建設費は10億円ですが、これは、オリンピック終了後も残す恒久的な施設部分の建設費のみで、暫定的につくられる観客席などの費用は含まれていません。暫定施設の建設費用は、オリンピック運営委員会が負担（放映権や入場料、スポンサーからのお金などを財源）することになりませんが、恒久施設部分の倍以上の建設費が必要になると考えられます。

現段階のおおまかな施設計画は、高さ6メートルのところから下方に水を流し、蛇行しながらカヌーがゴールに向かうコースを作る案のようですが、仮に汐風広場にこのような競技施設を建設したらどうなるでしょうか。

①葛西臨海公園は、今から20年前の平成元年に開園した都立公園です。総面積は、805,861.13㎡です。H15年時で年間346万人

の来園者数です。同じ区内にある都立篠崎公園は年間95万2千人の来園者数ですから、3倍以上の来園者数です。水族園、鳥類園、バーベキュー広場、大観覧車などの施設と合わせて、すぐ隣にディズニランド、ディズニシーがあることで、区内都内だけでなく関東近県を中心に多くの人が訪れています。開園以来20年の時を経た今、樹木は豊かに成長し、海辺の景が楽しめ、緑の下で憩える公園です。

汐風広場にスラローム施設を新設することは、せっかくの恵まれた自然環境を破壊する結果をまねくことは間違いありません。緑の芝生は剥がされ、樹木は伐採されること予想されます。

高さ6m、長さ400m以上におよぶ競技コースの建設と合わせて、8000人の観客席、選手の更衣所や待機所、カヌーなど競技用具の収納場所に加え、係員の事務を執り行う事務所の確保、観客のためのレストハウスやトイレ、売店の設置など付随する多くの施設建設が必要となります。都のオリンピック招致本部は、「施設を建設しても都立

公園の緑は減らさない」と説明していますが、その約束は可能なのでしょうか。ご見解をお聞かせください。

(以下、略)

そのほか、日本共産党都議団は、以下の問題などで奮闘しました。

◎国民健康保険料(税)の負担軽減。

◎住宅の耐震化助成の大幅な拡充など、防災対策の転換。

◎教育的な解決を第一にすべきとの立場で、あるいはいじめ防止対策推進条例に反対。

◎都有地・国有地・民有地等の活用検討チームの取りまとめは夏までにを表明。

◎都が外形標準課税の「中小企業への拡大については慎重であるべき」との認識を示す。

◎シルバーパスを使用する対象交通機関を拡大すること、住民税課税者は一律2万5100円という費用負担軽減を提案。